

ふれんど通信

第3号 平成20年5月20日
発行 児童養護施設 ふれんど

羽包むということ

施設長 吉岡一孝

昔、上尾である劇団の『育む者の詩』という劇を見ました。漢字では「教育」の「育」ですが、「教える」ということはどういうことか比較的イメージは簡単です。しかし、「育む」ということはどういう働きかけなのか、行動なのか、どういう作業なのか疑問に思い広辞苑を引いてみました。そうすると語源的には本来「羽で包む」ということで、①親鳥がその羽の下で雛を育てる。②養い育てる。③撫でいつくしむ。④かばい守る。⑤療養する、治療する。という意味であると書いてありました。鳥たちの子育てと我々の仕事が共通することに驚いたものでした。

鳥は抱卵の時はもちろん、雛が誕生してからも寒さや風雨あるいは外敵から守るために雛を抱き続けます。南極のペンギンは氷の上で、水鳥は水辺で、あるいは樹上の巣でそのけなげな、愛くるしい姿を見せてくれます。そしてオスもメスも巣立つまでせっせと餌を運び続けます。何か象徴的な鳥たちの姿が示唆的に思われます。

羽毛の柔らかさはスキンシップを求める児に重要です。温かい心のこもった食事の提供も大事です。毎日の洗濯、学校の宿題・準備にも気を配らなければなりません。最近驚きと憤りをもっていることに県警から毎日のようにメールでくる防犯速報です。新聞には報じられない不審者の事案が昨年は県内で690件も起こっています。これらや交通事故からも守らねばなりません。通院も毎日何回もあり、心理的ケアも益々必要になってきています。

世界には様々な沢山の鳥がいます。ヒマラヤ山脈越えをするアネハ鶴も、北海の孤島の海を飛ぶように泳ぐパフィンも、今ふれんどのA棟の屋根の下に盛んに出入りしている雀も、生態はいろいろですがその羽包む姿はみんな同じです。

ふれんども今後子供達をより良く「育む」施設でありたいと考えています。

行事報告

8/25,26 ; キャンプ(秩父市、埼玉県青少年総合野外活動センター)

11/14 ; バスハイク(行田市、古代蓮の公園)

12/15 ; もちつき大会

12/24 ; クリスマス会

12/26. 28. 29 ; サーカス招待(さいたま市)

12/31~1/4 ; 年末年始行事(初詣など)

3/1 ; おかあさんといっしょ招待(さいたまスーパーアリーナ)

4/2 ; 八景島シーパラダイス遠足

その他 ; 各棟毎の外出行事(秋・春)、誕生日会を実施しています。



ふれんど住居棟全景

この4月にそれぞれの上級学校に進学した
子ども達が現在の心境を語ってくれました。

がっこうでさかあがりがんばります。
ともだちたくさんできるように
がんばります。がっこうはたのしいよ (Y)



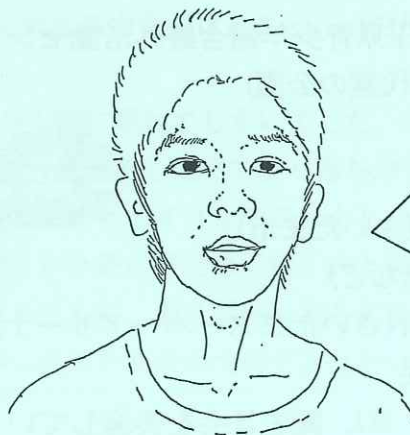
きゅうしょくをはやく
たべるようにがんばります。
おともだちをいっぱい
つくりました。おべんきょう
をいっぱいがんばります。
おともだちとなかよく
あそびます。
おともだちとなかよく
たのしくします。(H)



中学1年生になった時は友達ができるか心配
でした。それにこの時はまだふれんどにもまだ
慣れていなかったなので、胸が不安でいっぱい
でした。でも今はその不安は消え、あの時に
比べるとずいぶん楽になりました。
中学校では友達もできたし、楽しく過ごしている
ので大丈夫だと思います。(K)



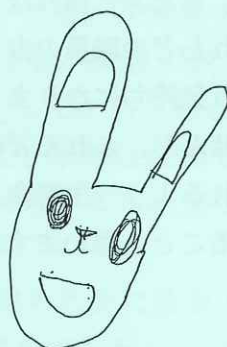
思ったよりは高校
生活が大変です。でも、
部活や新しい友達が
いるので楽しいです。
勉強は苦手だけど、
工業基礎の授業とか
「なるほどな」とか
「おお、すごい」とか
思ったりして、楽しい
です。
毎日が充実している
と思います。(K)



私は中学生になって友達がいっぱいできてとてもうれしいです。これから部活動が始まります。大変だけど頑張りたいです。私はこれからも部活、勉強頑張りたいです。(M)



中学生になって部活や勉強などで不安があるけど、心配なことがあればふれんどの職員に話したい。学校の先生や友達などにも相談していったり、自分で解決できる場所があれば自分で解決してゆきたいです。(N)



中学校生活はとても楽しく、毎日が充実した日々です。勉強はとてもむずかしいけどがんばってやります。(Y)

がっこうはたのしいです。おべんきょうとうんどうがんばります。おともだちをたくさんつくります。(M)



私は今S高校に通っています。クラスには仲良しの友人も出来て毎日楽しいです。自分がいつも笑って過ごせているのは周りが受験の時応援してくれたからだなんて思います。親にも今では感謝しています。中2の時は親の言う事を素直に受け止められなかったけれど、やっぱり親の言う事の方が正しいんだなって今は思います。お小遣いが少々足りない気もするけど、高校生活はこれからもっと楽しくなりそうです。授業をちゃんと受けて、赤点を取らないように頑張ります。(R)

3人の新任職員を迎え入れました。

この4月よりふれんどの職員として仕事ができることに誇りと喜びを感じています。まだ経験も浅く、毎日が戸惑いの連続で他の職員には大変ご迷惑をお掛けしている今日この頃ですが、一日も早く職務に慣れ、皆さんと一緒によりよい養護を目指していきたいです。

—私の中でこれからの養護で大切にしていきたいこと—

- 1, 忙しい日々であっても、子ども一人ひとりとしっかり向き合っていきたい。そのためにも1対1で話す機会を毎日作っていきたい。
- 2, 感性は子どものそれであっても、行動は大人というメリハリをつけていきたい。
- 3, 子どもの可能性を信じて養護をしていきたい。特に、普段の生活の中でつい悪い事に目が行きがちになり叱ることが多くなってしまいが、子ども達の良いところを少しでも多く見つけほめることで可能性を見出したい。 (落合保育士)



就職して早くも一か月が経とうとしています。まだまだ慣れないことだらけで不安がつきない日々を送っています。しかし、ふれんどの職員の方々や子ども達が温かく接してくれるので頑張ろうという気持ちになります。環境や生活に慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、ふれんどの一員として、棟のお姉さんとして早く一人前になれるよう一生懸命頑張ります。これからも沢山のご迷惑をお掛けすることと思いますが未長くよろしくお願ひします。(松田保育士)



3月の途中からふれんどに仲間入りをして毎日楽しくやっています。担当を持たず、フリーの立場で主に女子棟のカバーに入ってます。経験がない私で大丈夫だろうかと初めは不安でしたが、自分を信じて自分らしくできることからだんだんやっていけばいいんだよとアドバイスを頂き気持ちが楽になりました。とりあえずはこのままの私でいいと言ってくれた先輩に感謝です。今は次のようなことを考えています。

まずは、子ども達とのコミュニケーションの機会をできる限りつくり少しでも多く関わりをもつこと。

「いってらっしゃい」「おかえり」と元気にあいさつをして、当たり前のことを当たり前にする事。

そして、他愛のない会話の中からも子ども達の変化に気がつき、気持ちを感じ取れる力をつけること。(白川保育士)



編集後記

第3号の発行が大幅に遅れてしまいました。私の怠慢に因る所が大きいのですが、新年度を迎えて少し落ち着きましたので早速取り掛かりました。今回は新たな気持ちで4月をスタートした面々に原稿を依頼しました。気分一新。何とかと畳だけでなく新しいと気持ちが弾みます。今後も楽しいことばかりとは限りませんが、例えば転んだら起き上がればよい。それだけの事です。起き上がる時に見えた風景が大切だとは思いますが…?

